

# 42 余部地区

この地区には、昔、室津道という道路が通っていたことが分かる橋や渡しの跡が残っていますね。むろつみちはどこからどこまで通っていたのか調べてみましょう。



調べたこと、わかったことを書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り、伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

## えんつうじ 圓通寺

もとは天台宗でしたが、蓮如上人の教えで浄土真宗となり、今のたつの市御津町中島に移り、念仏の道場として栄えました。その後、今の場所に移りました。本堂北の庭石の上の鐘には「享保9年」(1724)と彫られてあり、鐘を寄付した理由も彫られています。



## きょうれんじ 教蓮寺

浄土真宗本願寺派のお寺で、天文17年(1548)に開かれました。顕如が蟠河川の西にあった蓮の池を地域の人々と一緒に埋め立て、お堂を建て教蓮寺と名づけたといわれています。鐘堂についての記録はありませんが、百数十年は経っているようです。



## さんじんじゃ 三神社

寛徳元年(1044)に建てられたといわれています。まつられている神さまはアマノコヤネ命・タケミナカタ命・ヤサカイリヒメ命です。江戸時代は諏訪神社とよばれていましたが、明治時代になり名前が変わったと考えられています。境内には山王社、荒神社などがまつられています。



## せんぼんまつあと 千本松跡

元禄年間(1688~1704)に、岩村源兵衛が洪水による被害を防ぐために揖保川の堤防にまつ松を980本植えたのが始まりです。その後、堤防がこわれることはなくなり、村人は源兵衛をほめたたえました。今は平成に植えられた数本の松しか残っていません。



## とくえいじ 徳栄寺

『播磨国末寺帳』に、寛永3年(1626)玄益が建て、元禄11年(1698)患教の時代にお寺の名前を書いた木仏をもらい受け、浄土真宗のお寺として認められたと書いてあります。本堂は天明7年(1787)に建て直されました。黒田官兵衛ともゆかりがあるといわれています。



## とくげんじ 徳源寺

徳道上人が建てた徳源寺という真言宗のお寺だったと伝えられています。後に、応仁の乱で負けた源元明という武士が徳源寺に入り、源明と名のって、空善(蓮如上人の特にすぐれた弟子)と出会い、浄土真宗に改め、お寺の名前を徳源寺としました。



## にじんじゃ 二神社

まつられている神さまはイザナギ命・イザナミ命・タザカラオ命です。境内には大將軍神社と太古宮がまつられています。「奉納 さし石 佐兵衛」と掘られた力石が保存されています。



## むろつみち はちまいばし 室津道の八枚橋

下余部と津市場出口の余子浜川にかかる橋で、室津道の通過点と考えられています。昔は、平らな石が8枚かかっていた、余子浜から余部へ通っているたった一つの道でした。今はコンクリートで舗装されています。



## むろつみち やそわた 室津道の八十の渡し

室津道の通過点と考えられています。下河原から中州、中川を通り、たつの市御津町中島に渡ったと考えられています。



## やぎけしゅうたく 八木家住宅

八木家は丸亀藩の大庄屋をつとめた家です。なまこ壁の長屋門がすばらしく、以前は東から北面の道路は水路で、裏門の北には船着き場があったといわれています。長屋門の西には大きなクスノキがあり、保存樹に指定されています。

